特別教育評価紹介状（概要）

目的

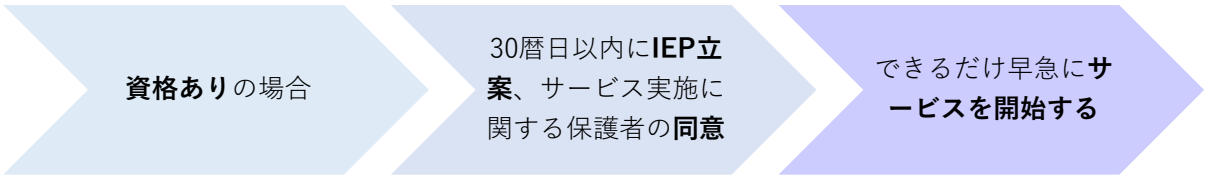
本書は、保護者、学校区職員、公的機関、または生徒に関する情報を有するその他の者が、特別教育評価（「特別教育紹介状」ともいいます）を依頼するためのものです。本書は必須ではありません。どのような書式で依頼いただいても構いません。口頭、E メール、またはその他の書面による依頼を頂いた後、本書への記入をお願いすることがありますが、必ずしも生徒の評価を検討する前に本書へ記入することは必須ではありません。本書の提出の有無にかかわらず、依頼を受けた日から以下に記載する 25 日が開始しますのでご注意ください。

手順

評価依頼を書面で受領すると、学校区は、学校や医療記録、保護者からの情報など、生徒に関する情報を 25 日以内に収集し、生徒の評価を実施し、特別教育を受ける資格があるかどうかを決定します。学校区が評価実施を決定した場合、初回評価を開始する前に保護者から書面による同意を得なければなりません。以下の日程フローチャートをご覧ください。

紹介・初回評価・初期個別教育プログラム（IEP）の日程





特別教育評価の紹介状

日付：＿＿＿＿＿＿＿＿

私は、以下の生徒の特別教育評価を依頼します。

生徒名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 生年月日：＿＿＿＿＿＿＿＿

学校名（学校内の場合）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 学年：＿＿＿＿ 年齢：＿＿＿＿

依頼者氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿ 生徒との関係：＿＿＿＿＿＿＿＿

電話番号：＿＿＿＿＿＿＿＿ メールアドレス：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

家庭での使用言語：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

当該生徒は過去に特別教育評価を受けたことがありますか? ☐ はい ☐ いいえ ☐ 分かりません

「はい」の場合、評価の時期と場所を記載してください。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ☐分かりません

生徒の懸念事項： ***（該当するものすべてにチェックを入れてください）***	
学業面の懸念	**身体面・行動面の懸念**

☐ 読解、または読み上げられた内容を理解すること ☐ 書くこと（考えや意見を言葉や文章にして書くこと） ☐ 数学（計算または文章問題） ☐ 指示に従うこと ☐ 思ったことを話し言葉で表現すること（表現型コミュニケーション） ☐ 話し言葉を理解すること（受容型コミュニケーション） ☐ 言葉や音を発音すること（構音）	☐ 注意力・集中力 ☐ 大人の指示に従うこと ☐ イライラしやすい ☐ 極端な気分の変動 ☐ 社会的交流能力 ☐ 意欲に関する問題 ☐ 身体・運動能力(例：鉛筆を持つ、階段を歩く、ボールをつくなど) ☐ 適応能力（トイレ、衛生、身の回りの安全対策、お金の管理など） ☐ 学校の出席問題
☐ その他：	☐ その他：
☐ その他：	☐ その他：
☐ その他：	☐ その他：

学校区に知らせたい情報が他にあれば以下の欄に記入してください。この情報は必須ではありませんが、評価実施を判断する際の参考になります。

生徒の懸念事項について詳しく教えてください。生徒はどのような事で苦労していると思いますか。

これまでにどのような試みをしましたか。 *たとえば、MTSS（多層支援システム）、LAP（学習援助プログラム）、Title I などの一環として実施される介入も含まれます。*

支援内容	**当該支援がどのように生徒の助けになりましたか。**
☐ 個人指導	
☐ 少人数教育	
☐ 挙動計画	
☐ その他：	
☐ その他：	

学校区が知っておくべき生徒の医療情報・健康情報はありますか。生徒が服用している薬はありますか。

その他に共有したい内容はありますか。学校区と共有できる書類などはありますか。

公教育監督者オフィス が提供する特別教育紹介状は、クリエイティブ・コモンズ表示 4.0 国際ライセンスにより許可されています。